

令和元年度指定管理運営業務評価票

施設名称：大阪府立花の文化園	指定管理者：住友林業緑化・E-DESIGN 共同企業体	指定期間：平成 28 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日	所管課：環境農林水産部農政室推進課
----------------	-----------------------------	--------------------------------------	-------------------

評価項目	評価基準（内容）	実施予定年度	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価	評価委員会の指摘・提言	
			評価	評価			
			S～C	S～C			
一 提案の履行状況に関する項目 施設の位置づけや特性、社会的役割等効用を最大限発揮するための方策	(1)花きを収集し、栽培し及び展示する業務	①絶滅危惧種や希少植物の収集	H30, R1 (R1 追加)	H30:絶滅危惧種・希少種の種苗交換を他の植物園と実施した。H30 環境省の「生物多様性保全推進支援事業」の認定を受け園内での展示エリア(ふるさと花園)を整備した。 R1:H30 同様に絶滅危惧種・希少種の種苗交換を他の植物園と実施した。H30 の認定事業(R2 最終年度)を継続し園内の希少種の保全に努めた。	A	・昨年度に引き続き、絶滅危惧種・希少植物の収集・保全を行った点や、エントランス、装飾花壇、園路沿いの花壇の植栽方法を工夫した演出を行ったことは評価できる。 ・特に装飾花壇におけるフラワードレスの新設や、季節ごとに大温室にフォトスポットを創出し SNS を活用した集客を図るなど、新しい取組を行ったこと、大温室の案内板の新設や、各展示エリアに案内板を設置し、来園者にわかりやすく植物の情報を提供している点については、高く評価できる ・web 花図鑑の内容充実を図り、今後の目玉としていくクレマチス園の改修にも一部取り組んだことから、H30 モニタリング評価による改善対応も十分行っていると考える。クレマチス園については、来年度の改修に期待したい。	
		②ゾーニングの変更					
		〈エントランスゾーン〉 ・プランターによる演出（季節毎に植替）	H28～R1 (R1 追加)	H28:老朽化の激しいテラコッタドール及びクジラのオブジェを撤去し、花の少ない夏期の魅力向上のためシロバナサルズベリ、ベニバナスモモ（2 本）を植栽した。エントランスゲート外の花壇の芝生を常緑化し、季節ごとに花を植え替えることで、おもてなしの空間演出を行った。エントランスゲートを入った広場にテラコッタ鉢を設置、花による季節ごとの演出を行った。 H29:エントランスゲート花壇の芝生を部分的に切り取り、花苗を植栽し華やかにした。エントランスゲート前とゲートに、特大テラコッタを置き、季節の花を中心にした寄せ植えをして、お客様をお迎えした。 H30:H29 に設置した特大テラコッタを装飾花壇と連動して季節の花を中心にした寄せ植えをして、エントランス中心には特大のオリーブの鉢植えを置き、お客様をお迎えした。 R1:エントランス全体に中小テラコッタ鉢を増やし季節の花を寄せ植えすることで艶やかなエントランスを演出した。			
		・花壇の整備	H29, H30, R1 (R1 追加)	H29:装飾花壇内に敷いた白玉砂利を撤去し植栽部分を増やした。花の湧きたつようなボリュームを見せたい為、細かく区切られていた植栽柵を大きなサイズに変更した。 H30:大きくした植栽柵に高さが異なる花を植えることで立体的な 3 次元の植栽を実施した。(適宜、老朽化した箇所等を継続して整備予定) R1:装飾花壇最上段に季節の花を装飾する大小 2 基のフラワードレスを新設し、植栽デザインをドレスに合わせた構図に変更すると共に、植替えの回数を 3 回/年から 4 回/年に増やすことでより季節感のある花き展示とした。大温室前のブルーガーデンを延長してより多くの花きを展示した。			
〈ガーデンゾーン(メイン園路沿い)〉 ・現況撤去、ガーデン新設	毎年	H28:園路沿いに設置されていたプラスチックプランターを撤去、流れ末端に花壇を新設し、シェードガーデンから花壇をつなげることで、花の演出スペースを増やした。園路沿いに寄せ植えをしたテラコッタプランターやハンギングバスケットを設置し、季節ごとに花の植替えを行った。球根園横の園路沿い花壇の低木を撤去し、季節の花を見ていただけるような花壇を整備した。 H29:園路沿いの花壇の砂利を撤去し、花の植栽面積を増やし季節の花いっぱいのお客様をお迎えした。 H30:チューリップ、ユリのコンテナを用意し常設の展示エリア以外にも季節毎に展示をすることで花いっぱいの園路でお客様をお迎えした。 R1:H30 に続きユリのコンテナ、鉢植えを園内に数多く展示(10,000 球)した「はなぶんユリ祭り」を開催した。バラ園前のメイン園路沿いにハナミズキを品種改良した住友林業オリジナルの「ホワイトラブ」・「プリンセスラブ」を各 10 本植栽しハナミズキ並木を新設した。メ					

				イン園路に設置されているベンチ脇に新たにテラコッタ鉢を新設し季節の花で色鮮やかにメイン園路を演出した。				
			〈標本展示ゾーン〉 ・既存植物の同定	H28～H30 (H30 延長)	H30 に既存植物の同定作業終了。			
			・補充及び展示の整備	H28, H30, R1 (R1 追加)	H28:ツバキ、ボタン、クリスマスローズを補充。 H29:大温室にてサクラソウ展、マドンナリリー展、ギボウシ展、変化朝顔展、ネリネ展、クリスマス展、冬咲きチューリップ展を開催。樹木を撤去して展示スペースとして整備した。 H30:大温室内コレクションガーデンを整備し、希少種を含むシャクナゲを補植（原種 35 種、園芸種 14 種）し、H29 同様に各種の植物展を実施した。大温室には約 20 種程度の花きを補植。ボタン園奥の花壇を整備し、季節毎の展示としていたハスの常設展示エリアとした。日当たりの悪かったハーブ園をモミジ谷入口付近のメイン園路沿いの日当たりの良いエリアに移設し、移設後のハーブ園をペレニアルガーデンとして整備した。 R1:ボタン園に新種を含む 50 株を補植した。涼が丘付近の老朽化したデッキスペースを全て撤去してアジサイ園の一部とし新たに 30 株を補植してアジサイ園を拡張した。バラ園内のバラを同一品種毎に植替えして花の色をそろえることで統一感のあるバラ園にリニューアルした。			
			・サインの設置	H29, H30, R1 (H28 延期)	H29:劣化が激しかった植物サインはデザインを統一し刷新した。 H30:H29 引き続きデザインを統一した植物サインを設置した。 R1:大温室の入口にある温室案内板を新規で作成し設置した。各展示エリアに開花時期や展示植物の案内を掲示した案内板を設置して、見頃の時期以外でも訪れた入園者に積極的に情報を提供するようにし開花時期での再来園を促した。			
		③わかりやすい展示						
			〈園内サインの統一デザイン化〉 ・ガーデンゾーンの植物サインの新設（検索閲覧用パソコン整備）	H28～R1 (H30, R1 延長)	H28:装飾花壇、花時計に植物サインを設置した。 H29:劣化が激しかった植物サインはデザインを統一し刷新した。QR コード植物検索での花の散歩道へのリンクについては、H30 年度中に園内にパソコン閲覧場所を設置し、対応する予定。 H30:3 月にパソコンを設置済み。 <u>※H30 モニタリング対応方針：Web 花図鑑「花の散歩道」の内容充実を図る。</u> R1:「花の散歩道」閲覧用のパソコンから検索できる花きの登録品種を増やした。			
			・園の案内サインの再整備	H29, H30, R1 (H30, R1 追加)	H29:園内外に「のぼり」を設置、奥河内くろまるの郷の駐車場に「花の文化園駐車場の看板」を設置し、誘導を図った。 エントランス上部に遠くからでも視認できる「はなぶん」看板を設置した。園内マップ案内看板を、より細部までわかるようにデザインを刷新した。ゾーンに属する主要な植物の文化や歴史を掲載した案内サインを設置した。 H30:大温室カフェへの利用促進のため温室テラス手すりに看板を設置した。利用者に分かりやすくするため「ゆずりあい駐車場」の案内板を設置した。 R1:ゆずりあい駐車場に道の駅に向けての横断幕を設置する掲示設備を新設し、各イベントの案内や文化園看板を掲示して道の駅からの入園を促した。			
			・標本展示ゾーンの植物サインの再整備（検索閲覧用のパソコン整備）	H28, R1 (H30 延期)	（再掲）H30：3 月にパソコンを設置済み。 R1:「花の散歩道」閲覧用のパソコンから検索できる花きの登録品種を増やした。 <u>※H30 モニタリング対応方針：Web 花図鑑「花の散歩道」の内容充実を図る。</u>			

④園内樹木について、樹木医による危険木調査を実施					
園内樹木について、樹木医による危険木調査を実施	H29, R1	H28:樹木医による園内樹木の調査を実施。樹木の状況の把握と園に適応した管理のアドバイスを受けた。モミジ谷の低木について過密気味との調査結果を受け、強剪定を実施した。 H29:調査で危険と診断されたエドヒガンザクラ1本を伐採した。 H30:樹木医による特定外来生物(クビアカツヤカミキリ)の被害確認を実施した。 R1:H30に続き樹木医による特定外来生物(クビアカツヤカミキリ)の被害確認を実施した。			
⑤個別植栽エリアの改修、拡張、充実					
〈装飾花壇〉 ・花壇の勾配変更	H30, R1 (H29 延期)	H29:勾配変更の図面は作成済み。勾配変更工事時期がイルミネーション開催期間(12/15～3/4)と同時期になったため、工事はH30年度に延期。 H30:秋の一斉植え替えに合わせて最上段の花壇に盛土を実施し、モニュメントの付近を頂点とする40cmのかさ上げを行い勾配を変更した。 (フォトスポットの創出を行う) R1:盛り土をして勾配を変更し、緑視率を高めた装飾花壇最上段に季節の花を装飾する大小2基のフラワードレスを新設しフラワードレスに上って写真を撮る常設のフォトスポットとした。季節限定では大温室「フェアリーリング」、クリスマス展「フラワーリース」・「ポインセチアタワー」、ウインターチューリップ祭り「チューリップタワー」と多くの新規フォトスポットを創出した。また、「フラワードレス」と「フェアリーリング」を用いたインスタグラムフォトコンテストを開催し、文化園のホームページ、SNSへのアクセス数を伸ばすことを試みた。			
・背景樹木の植栽	H29 (H28 延期)	H29に桜を植栽済み。			
〈花時計〉 ・物見台の設置	R1 (H29, H30 延期)	(時計機器の配線移動が困難なため、勾配変更から物見台設置へ見直し。台風によりR1へ再延期) R1:新規フォトスポット等の新たな魅力ある花き展を新設することを優先しR2へ延期。			
〈バラ園〉 ・アーチ及びトレリスの新設	H30, R1	H30:台風21号の被害により既存アーチ、トレリス等が全壊。新設も含めて全体計画を立てての大規模回収が必要となり今年度は延期。 R1:バラ園への入口から隣接の木根館の境界にかけて新規で木製トレリスを設置した。			
・株のボリュームを増加する管理の実施	随時	H30:品種数は保持し、株が混んでいるところは間引きをして風通しを良くし、栄養豊富な土作りをし、株が良好に育つ様な管理を実施。間引き株は鉢上げをし、花期には展示をする。 R1:バラの発育の促進も兼ねて同一品種毎にまとまるように植替えを実施した。			
〈梅園〉 ・間引き	H29～R1 (R1 延長)	H29:間引きによる管理を変更し、高頻度剪定を行う事により生育環境の改善を図る。H29, H30年度とも花後に剪定予定。 H30:H29同様に4月の花後に実施。 R1:H30同様に4月の花後に定期で実施予定。			
・低樹高化のための切り戻し	H29～R1 (R1 延長)	H28, H29:4月の花後に、切り戻しを実施した。 H30:H28, H29同様に4月の花後に実施。 R1:H30同様に4月の花後に実施予定。			
〈香りの丘〉 ・香りのある植物の補植	H30～R2	H30:台風21号の被害により既存樹木が倒木した為、新規樹木植栽計画と合わせて再計画が必要となり今年度の補植は延期。 R1:H30の台風により傾いた樹木等を撤去、3月度にコミュニティガーデンにあるカラタネオガタマを移植予定。			
〈大温室〉	H29～R1	H30:植物の少ない部分や既存植物の一部を整理し新規植物を補植(約20種程度補植)する			

			<ul style="list-style-type: none"> ・温室植物の補植 	(H30 追加)	<p>ことで大温室をリニューアルした。エントランスと一部エリアをランの常設展示エリアとし大温室への入館者を楽しませるようにした。</p> <p>R1:H30 に続き植物の少ない既存植物部分に補植を実施した。滝下の通路部分を利用してテラリウム展示スペースを新設した。</p>			
			<ul style="list-style-type: none"> ・ベンチの設置 	R1	<p>H30:イベント広場、入口売店前を整理しパラソル付ベンチを新規に設置した。</p> <p>R1:園路中にベンチを設置すると共に、滝上の踊り場を整理して休憩スペースとした。</p>			
			<ul style="list-style-type: none"> ・文化を紹介するサインの設置 	H29, H30, R1 (H30, R1 追加)	<p>H29:大温室にコレクションガーデンを整備し、企画展（植博：しょくはく）を実施。植物文化に関する情報を展示紹介した。</p> <p>H30:H29 同様にコレクションガーデンにて企画展を実施。6 月度には「舞洲ゆり園」との連携企画として「マドンナリリー展」を開催しユリに関する多くの情報を展示紹介した。 (文化園を積極的に入園者へアピールすることで集客につなげるため継続実施)</p> <p>R1:H30 同様にコレクションガーデンにて季節毎の花き企画展を実施。企画展中でのサインボード等の掲示を増やし多くの情報を発信した。</p>			
			<ul style="list-style-type: none"> 〈もみじ谷〉 ・園芸品種の導入 	H30 (R2 延期)	H30 の台風 21 号により、R2 へ延期			
			<ul style="list-style-type: none"> ・樹名札の設置 	R1	H30 に設置完了。			
			<ul style="list-style-type: none"> 〈クレマチスガーデン〉 ・改修 	H29, H30, R1 (R1 追加)	<p>H29:実績なし</p> <p>H30:改修計画を立案するも 6 月度の大阪北部地震の影響でクレマチスガーデン内のレンガ壁の解体が発生し再計画が必要となり延期</p> <p><u>※H30 モニタリング対応方針：メインコンテンツとすべく改修。</u></p> <p>(H30 は台風の影響により未実施)</p> <p>R1:改修に向けて準備として既存のクレマチス株を鉢に移植した。</p>			
			<ul style="list-style-type: none"> 〈コミュニティガーデン〉 ・ガーデンを整備し、カフェの設置 	H30, R1 (R1 追加)	<p>H30:ガーデン内のモニュメント、一部構造物を撤去し季節毎の花を新規に植栽し、テーブルセットを設置して休憩場所として開放した。カフェの設置については大温室カフェとの競合も考慮する必要を考え次年度へ延期。</p> <p>(大温室との兼ね合いにより、カフェの設置から休憩スペースの改修に変更)</p> <p>R1:ガーデン内の樹木を整理し、大花壇と連動した花き展示エリアとして季節毎の花で演出し、テーブルセットを設置して休憩スペースとして入園者に開放した。</p>			
			<ul style="list-style-type: none"> 〈球根園〉 ・3 種の球根ガーデンの補植 	H29, H30, R1 (H30, R1 追加)	<p>H29 に 3 種の球根ガーデンに改修済み。</p> <p>H30:一部をダリアの展示エリアとして球根を植栽した。合わせてダリアの開花時期に合わせて鉢植えのダリアを球根ガーデン内、園内各通路に展示することで文化園全体としてのダリアのイメージを入園者へアピールした。</p> <p>(今後の文化園のサブコンテンツとするガーデンに改修予定)</p> <p>R1:H30 に続きダリアの補植を実施、さらに 8 月、11 月にはコンテナ植えのダリアを多数展示した「ダリア祭り」を開催し、今後の文化園のサブコンテンツになるよう管理した。また、6 月のユリ、4 月のチューリップをあわせて植栽することでダリアの開花時期以外でも楽しめるガーデンとした。</p>			
			<ul style="list-style-type: none"> ・植物を活用した講習会の実施 	H30~R2	(2)花きに関する講習会、展示会及び品評会等を開催する業務を参照。			
			<ul style="list-style-type: none"> 〈ハーブ園〉 ・ハーブの補植 	H30, R1 (R1 追加)	<p>H30:ハーブ園をモミジ谷入口付近のメイン園路沿いの日当たりの良いエリアに移設し、合わせて新規品種の補植を実施した。</p> <p>R1:H30 にて移設後枯れてしまったハーブの補植を実施し展示内容の充実を図った。</p>			

			<ul style="list-style-type: none"> ・講習会の実施 	R31, R2	(2)花きに関する講習会、展示会及び品評会等を開催する業務を参照。				
			<ul style="list-style-type: none"> 〈芝生広場〉 ・桜の補植 	H29, H30	H29に補植完了。				
			<ul style="list-style-type: none"> ・芝生の整備、養生 	毎年	<p>H29:遊具撤去跡を整地し芝生の播種を行なった。芝生地に姫高麗芝を植栽。管理用の農機なども導入し、芝生の質を保っている。</p> <p>H30:9月に専門業者によるメンテナンスを実施。</p> <p>R1:H30同様に専門業者によるメンテナンスを6月に実施。H30の台風被害により倒木してできたスペースには新規で芝の植栽を実施し、芝生エリアを拡張して子供たちが安全に遊べるようにした。</p>				
			<ul style="list-style-type: none"> 〈バックヤード〉 ・バックヤード見学会の実施 	H29～R2	<p>H29:企業見学会、団体見学会時に3回実施。3月の府政学習会にて実施予定。</p> <p>H30:H29同様に企業見学会時に2回実施。2月の府政学習会にて実施予定。</p> <p>R1:H30同様に企業向けに見学会を1回実施。12月の府政学習会でガイドツアーを実施した。</p>				
		⑥高木密度の適正化							
			<ul style="list-style-type: none"> ・景観改善のための伐採・剪定 	毎年	<p>H29:レストラン、芝生広場、モミジ谷周囲樹木の伐採、剪定を実施。</p> <p>H30:装飾花壇の後ろのマツ林の剪定を実施、林内部のツバキを伐採しエントランスからの景観を改善した。新規ハーブ園付近の高木を伐採し日当たりと景観の改善を実施した。</p> <p>R1:芝生広場に面するメイン園路脇の中高木の剪定を実施、芝生広場が見えるようにすることで明るい園路にした。</p>				
			<ul style="list-style-type: none"> ・樹木の健全性維持のための伐採、剪定 	毎年	<p>H29 アジサイ園内の過密になり下に陰を落としていた杉の剪定を行い、杉本体とアジサイの状態の健全化を図った。</p> <p>H30:大温室内の高木の剪定を実施し、温室内の日照の改善と樹木の健全化を図った</p> <p>R1:モミジ谷内の雑木の剪定を実施しモミジの日照改善と健全化を図った。</p>				
	(2)花きに関する講習会、展示会及び品評会等を開催する業務	①これまでに引き続き開催する講習会等							
			<ul style="list-style-type: none"> ・不思議植物展 	毎年	<p>食虫植物をはじめとする植物の不思議な生態をクイズ形式にすることで、来園者にわかりやすく、興味を持ってもらえるよう工夫して紹介した。</p> <p>8/6(火)～8/18(日)の期間中、食虫植物を使った子ども向けの植え方・育て方教室を開催。期間中入園者数は、2,757人。(H30:3,156人、H29:2,479人)</p>				
			<ul style="list-style-type: none"> ・夏休み子ども講座 	毎年	<p>「はなぶんサマースブラッシュ」の一環プログラムとして、「夏休みキッズワークショップ」を開催。7/20(土)～8/25(日)の期間中、週末の10日間実施した。小さなお子様から楽しめる31種類の体験教室に2,368人の参加があった。(H30:9日間3,251人、H29:13日間1,329人)スブラッシュガーデンや冒険クイズラリーなどを同時開催することで集客アップを図った。</p>				
			<ul style="list-style-type: none"> ・花の文化園写真コンテスト作品展 	毎年	<p>「花の文化園写真コンテスト作品展」を2部門制にして実施した。</p> <p>部門①「四季のはなぶん」は、園内で撮影された写真全般を対象とし、4月から9月に募集、11/26(火)～12/8(日)に展示を行った。応募点数は85点の内、38作品を展示。展示期間中の入園者数は1,996人。</p> <p>部門②「梅雨のはなぶん」は、園内で撮影された梅雨をテーマにした写真を対象とし、4月から7月に募集、12/3(火)～12/26(木)に展示を行った。応募作品の全71点を展示し、展示期間中、来園者の投票により上位3作品を表彰した。(投票数766票)展示期間中の入園者数は2,066人。</p> <p>(展示期間中の入園者数 H30:5,223人、H29:2,893人)</p>		A		
								A	
									<ul style="list-style-type: none"> ・施設所管課の評価のとおり、花育の推進に係るイベントを実施する等、提案された項目については、いずれも提案に沿って実施されたと評価できる。 ・引き続き、多様な客層の確保に向け、来園意欲に直結するような魅力あるイベント等の企画

			・幼児、小中学生花の 絵画展	毎年	「幼児、小中学生花の絵画展」を 1/5 (土) ～2/2 (日) に開催。4 月より画用紙の無料配布、画板の貸し出しを行い、夏休み期間中には絵画の指導員を迎えて、写生大会を 2 回実施した。園内を写生した応募作品 284 点の中から審査により 150 点 (内、特別賞 10 点) を展示。また 1/5 (土) ～1/19 (日) の期間では、入園者の投票により上位 30 点 (投票総数 1,559 票) を花の文化園賞として表彰した。展示期間中の入園者数は、3,856 人。 (H30:1,295 票、4,210 人 H29:1,223 票、3,283 人)	<p>のような、園芸愛好家を惹きつけるような新たなイベント・講習会の開催についても検討されたい。</p>	<p>を検討されたい。</p>
		・春を告げる盆梅展	毎年	「春を告げる盆梅展」は、2/4 (火) ～2/16 (日) に開催。園内で生育させた盆梅を万葉集や枕草子などの古典文学に見られる梅の和歌や文章と合わせて、20 鉢の展示を行う。			
		・クリスマスローズ と春の草花展	毎年	「クリスマスローズと春の草花展」は 2/18 (火) ～2/24 (月・祝) に開催予定。園でみられるクリスマスローズの一覧も合わせて展示することで、クリスマスローズ園の案内を行い、ガーデンショップでの販売も行う。			
		・花の写真教室	毎年	昨年に引き続き、外部の写真教室を受け入れている。 園の取り組みとしては、園内随所に花と撮影できる「フォトスポット」を毎週設定し、エントランスで配布している散策マップに掲載した。また、現地にはサインを設けることで来園者に写真をとってもらいやすいようにした。			
		・押し花ファイルづくり	毎年	より魅力的な講習会にするために、押し花でなくドライフラワーを生産し、草花ハーブ倶楽部での活動や季節ごとのワークショップに活用した。 ・妖精のアクセサリ屋さん (6/15.16 参加人数 23 人)。 ・花絵をつくろう (10/12 参加人数 3 人) ・バラのポップリ作り (10/19.20 参加人数 11 人) ・こたつ de ワークショップ (12/14.15.21.22 参加人数 110 人) ・植物アレンジレッスン「ポップリ作り」(3/8) ・ドライフラワー詰め放題 (3/28.29)			
		・花と趣味の切手展	毎年	イベントホールで、花きに関する展示を行った。 ・「富貴蘭ほか初夏の展示会」6/29.30 (主催：河内長野愛蘭会) ・「秋の洋ラン展」10/22～10/27 (主催：大阪愛蘭会) ・「寒蘭展」11/23.24 (主催：河内長野愛蘭会) ・「春蘭展」3/21.22 (主催：河内長野愛蘭会)			
		・春の押し花展	毎年	イベントホールで、様々な草花で作成した個性豊かな押し花の作品を展示した。 主催：花工房あじさい (5/14～5/19)			
		②新たに開催する講習会等					
		・和菓子の手作り教室	毎年	食に関するイベントとして、外部から講師を招いて夏休みの子供向けに「クレープ体験」、秋の行楽シーズンに女性向けに「フラワーゼリーレッスン体験」を開催した。(今年度初開催) ・クレープ体験 (8/10.12.17.18 参加人数 123 人) ・フラワーゼリーレッスン体験 (11/23 参加人数 7 人)			
		・園の植物を活用した草木染講習会	毎年	植物アレンジレッスンで「草木染め体験」を実施した。園内で育てた藍を収穫して利用した。 (2/9 参加人数 19 人)			
		・寄せ植え教室	毎年	植物アレンジレッスンで「割鉢でつくる多肉植物のミニチュアガーデン」を実施した。 (10/13 参加人数 26 人)			
		・リース作り教室	毎年	植物アレンジレッスンの中で「チランジアと多肉植物のリース」した。また、最近インテリアとしても流行りで家の中で飾りやすい「クリスマススワッグ作り」も実施した。 ・チランジアと多肉植物のリース (9/8 参加人数 24 人) (H30:18 人)			

					・クリスマススワッグ作り (11/10 参加人数 20 人)					
				・園で見られる生きもの教室	毎年	「はなぶんサマースブラッシュ」のプログラムのひとつとして、外部から講師を招いて「昆虫標本づくり教室」、「植物園の生き物観察会」を開催した。 ・昆虫標本づくり (8/3、8/18 参加人数 75 人) ・植物園の生き物観察会 (7/27、8/24 参加人数 31 人) (2 イベントの参加者数計 H30:145 人、H29:80 人)				
				・手作りアート教室	毎年	季節ごとに子どもまたは親子を対象としたワークショップを開催した。 ・7、8 月「キッズワークショップ」(10 日間 参加人数 2,368 人) 夏休みの子供を対象とした 31 種類の体験講座を屋内で開催。 (H30:9 日間 3,251 人、H29:13 日間 1,329 人) ・11 月「ものづくりワークショップ」(9 日間 参加人数 905 人) 芸術の秋にぴったりの親子で楽しめる 22 種類のものづくり体験を屋外で開催。 (H30:11 日間 908 人、H29:11 日間 746 人) ・12 月「こたつ de ワorkshop」(4 日間 参加人数 110 人) 園内でとれる松ぼっくりや木の実、花などを活用して、大人から子どもまで対象としたクリスマス向けのワークショップを開催。(H30:6 日間 81 人、H29:2 日間 50 人)				
				・ハーブガーデンのポプリづくり	毎年	バラまつりの体験プログラムとして、園内のバラを使った「バラのポプリづくり」、園内のダリアをはじめとする花や葉を活用した「フラワーアレンジづくり」を開催した。また、植物アレンジレッスンで「ポプリづくり」を開催予定。(すべて今年度初開催) ・バラのポプリづくり (10/19.20 参加人数 11 人) ・フラワーアレンジづくり (11/3 参加人数 9 人) ・ポプリづくり (3/8)				
				・フラワークラウン教室	毎年	フォトスポットのフラワードレスに関連させて、4 月に生花を使った教室を、5 月はアーティシシャルフラワーを使った教室を開催した。作成後は、フラワードレスで撮影するなどしてフォトスポットのにぎわい演出も合わせて行うことができた。(参加人数 21 人、今年度初開催)				
				・はなぶんそば工房 (そば打ち体験)	毎年	毎月第 1 日曜日に、そば打ち体験とそばの実食会を開催した。定期開催することにより、使用率の低かった調理室の稼働を増やすことができた。(総参加人数 158 人 2 月開催時)				
				・アロマテラピー講習会	毎年	香りに関する講習として、「バラのポプリづくり」や「バラの石鹸づくり」を開催した。来園者の五感に訴えることで、日々の暮らしや癒やしにつなげられるよう工夫した。(今年度初開催) ・バラのポプリづくり (10/19.20 参加人数 11 人) ・バラの石けんづくり (10/19.20 参加人数 18 人)				
				・山野草を使った寄せ植え体験	毎年	植物アレンジレッスンの中で、伝統園芸植物である「サクラソウの植え付け体験」を実施した。(1/12 参加人数 5 人)				
				・鉄砲瓜の発砲体験	毎年	夏休みの自由研究向けに「鉄砲瓜の発砲体験」を開催した。鉄砲瓜は園内で育てたものを使用し、生態の解説だけでなく、参加者全員が触ったりできるように内容を工夫した。(8/4 参加人数 20 人、今年度初開催)				
	(3)花きに関する講習会、展示会及び品評会等	①申し込み方法の簡略化								
			・申し込みフォーム及び空室情報を掲載したホームページの	H28	ホームページ開設済み。		A	・ホームページ(特にトップページ)において、貸出施設の貸出しを行っていることをよりわかりやすく表示するなど、より効果的な利用促進を	A	・施設所管課の評価のとおり、提案された項目につい

	のため、花の文化園の施設を府民の利用に供する業務	開設			図られたい。 ・芝生広場では毎年恒例の夏休みの子供向けイベントのほかに、秋にもファミリー向けのワークショップの開催、シニア層向けに花や紅葉の広報を行うなど、ターゲット層に合った集客に取り組んでいること、外部団体のイベント誘致数を増加させていることについては評価できる。		ては、いずれも提案に沿って実施されたと評価できる。
		・登録制度の新設（窓口及び FAX でも引き続き受付）	H28	登録制度を構築済み。			
		②対象施設の PR					
		・施設の写真を掲載したホームページの開設（施設利用の提案及び展示アドバイスは随時）	H28	ホームページ開設済み。			
		③屋外スペースの積極的な活用					
		・芝生広場及びイベント広場の利用誘致（広報誌に掲載等）	毎年	芝生広場をメインとしたイベントとして、「はなぶんサマースプラッシュ」（7/20-8/25）と「はなぶん奥河内秋の文化祭」（11/2, 3, 4, 9, 10, 16, 17, 23, 24）を開催した。 「はなぶんサマースプラッシュ」では、期間中毎日スプリンクラーを設置し、夏休み中の子どもたちの遊び場として、賑わいを創出できた。子ども向け講習として、キッズワークショップを 30 種類以上、その他の体験や講習を 20 種類以上、実施した。 「はなぶん奥河内秋の文化祭」では、ファミリー層向けに、ものづくりワークショップやダンボール迷路、動物ふれあい体験など、10 種類以上のイベントを芝生広場で行った。また同期間中に、シニア層向けに花（ダリア、マドンナリリー）や紅葉をメインとした広報をすることで、それぞれのターゲット層にあったコンテンツ展開し、より一層の集客を狙った。 他にも、外部団体による雑貨マルシェ、自転車イベント、講習会、幼稚園の運動会の実施などを誘致することができた。イベント広場では、春秋のフラワーコンサートの利用を継続的に実施した。			
(4)花きに関する相談及び指導を行う業務	① 相談所の設置	・図書館の再整備（センター棟ホールに拡張、専門職員を常駐）	H29, H30, R1 (H28 延期, H30, R1 延長)	H30 : 3 月にパソコンを設置済み。 ※H30 モニタリング対応方針：Web 花図鑑「花の散歩道」の内容充実を図る。 R1: 「花の散歩道」閲覧用のパソコンから検索できる花きの登録品種を増やした。	A	A	・施設所管課の評価のとおり、提案された項目については、いずれも提案に沿って実施されたと評価できる。
		・書籍紹介、コピーサービス等サービスの充実	H29 以降 (H28 延期)	図書紹介、コピーサービスを実施中。			
		②来園者以外からの相談受付					
		・ホームページに問い合わせフォームを設置	H28, H30, H32	H28 設置済み			
		・よくある問い合わせをホームページに掲載	H28	掲載後、適宜更新中。			
		③出張花の文化園					
		・web 花図鑑の内容充実を図っており、H30 モニタリング評価による改善対応を十分行っていると考ええる。					

			<ul style="list-style-type: none"> ・車両の整備 	H30	H30:資材仕入用バンを利用して、文化園の広報用の掲示板、花苗プランター等を積み込み「出張花の文化園」を実施。(6施設へ出張)					
			<ul style="list-style-type: none"> ・園外活動の実施 	H30～R2	H28:学校ガーデニングの継続(小中学校 18校 21回訪問)、園外イベントへのブース出展継続。(中之島公園) H29:学校ガーデニングの継続し、花育を実施(小中学校 19校 24回訪問)、園外イベントへのブース出展継続。(舞洲ユリ園、南海難波駅) H30:学校ガーデニング継続実施。(幼稚園 1園 小中学校 15校 20回訪問) 出張花の文化園 6回実施。(大阪舞洲ゆり園、大阪府立江之子島文化芸術創造センター、大阪中ノ島公園、さかい利品の杜、大阪府立大型児童館ビックバン、堺緑のミュージアムハーベストの丘) R1:学校ガーデニング継続実施。(幼稚園 1園 小中学校 17校 22回訪問) 出張花の文化園 4施設 5回実施。(大阪舞洲ネモフィラ祭り、大阪府立江之子島文化芸術創造センター、さかい利品の杜、万博記念公園-おおさか都市緑化フェア 2019 in 万博)					
			④ボランティアに対する教育							
			<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア養成講座の実施 	毎年	(7)花きに関するボランティアの育成に関する業務を参照					
			<ul style="list-style-type: none"> ・日々の管理の中での専門的な指導 	随時	同上					
	(5)花きに関する情報の収集及び提供を行う業務	①誰もが利用しやすい図書館づくり								
		<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の再整備(センター棟ホールに拡張、専門職員を常駐) 	H29, H30, R1 (H28延期)	(再掲) H30:3月にパソコンを設置済み。(期間限定でお花の相談窓口を開設) R1:「花の散歩道」閲覧用のパソコンから検索できる花きの登録品種を増やした。						
		<ul style="list-style-type: none"> ・雑誌や書籍の充実 	随時	購読者の多い園芸雑誌の継続提供。						
		②インターネット上での情報公開								
		<ul style="list-style-type: none"> ・Web花図鑑「花の散歩道」の充実 	H29, R1, R2 (R1追加)	H30:3月にパソコンを設置済み。 ※H30モニタリング対応方針:Web花図鑑「花の散歩道」の内容充実を図る。 R1:「花の散歩道」閲覧用のパソコンから検索できる花きの登録品種を増やした。						
		③広報誌の刷新								
		<ul style="list-style-type: none"> ・新広報誌の作成(Letter from flowers) 	H28	広報誌を作成し、広報活動を継続実施中。						
		④情報収集のためのネットワーク形成								
		<ul style="list-style-type: none"> ・公益財団法人日本植物園協会への継続加入 	毎年	継続加入中。						
		<ul style="list-style-type: none"> ・海外花き関係団体への加入 	H29～R2	園にとっての意義が少ないと判断し、国内の協会での活動、交流を充実させる。						
	(6)花の文	①清掃及び施設点検の徹底								
						A	<ul style="list-style-type: none"> ・web花図鑑の内容充実を図っており、H30モニタリング評価による改善対応を十分行っていると考える。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・施設所管課の評価のとおり、提案された項目については、いずれも提案に沿って実施されたと評価できる。 	
						A	<ul style="list-style-type: none"> ・内装の工夫およびトレリスの設置 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・施設所管課 	

	化園の維持及び補修に関する業務	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃チェックリストの作成 	H28	作成済み。	<p>等により、老朽化を目立たない工夫をしている点については評価できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪府・花の文化園での危機管理マニュアルを制定し、災害を想定した伝達訓練も連携して実施しており、H30 モニタリング評価による改善対応を十分行っていると考える。 	<p>の評価のとおり、提案された項目については、いずれも提案に沿って実施されたと評価できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害訓練の実施等、引き続き指定管理者と連携して危機管理体制の強化に努められたい。
		<ul style="list-style-type: none"> ・安全基準の作成及び点検実施(点検は随時) 	毎年	<p>園全体の危険個所について、舗装・安全柵、危険樹木、転倒危険性、その他に分類してリストアップを行い、随時回収及び清掃を実施した。継続実施中。</p> <p><遊歩道></p> <p>H28:遊歩道の転落の危険性が高く、300mにわたり、木製の安全柵を新設した。</p> <p>H29:梅園、木製階段及び手すりの安全改修。</p> <p>R1:梅園内園路を砂利敷きにて不陸調整を実施した。</p> <p><モミジ谷></p> <p>H28:舗装の不陸及び階段部を改修した。</p> <p>H29:落枝樹木の剪定、伐採。</p> <p>H30:アスファルト・コンクリート舗装を全面改修した。</p> <p><階段></p> <p>H28、29:階段不陸補修。</p> <p>R1:センター棟屋外階段、バラ園階段を高圧洗浄による清掃を実施した。</p> <p><シェードガーデン園路></p> <p>H30:木の根の影響で凹凸状態の石畳の不陸補修。</p> <p><イベント広場></p> <p>H30:高圧洗浄により全面清掃を実施した。</p> <p>R1:H30 に続きイベント広場全面を高圧洗浄による清掃を実施した</p> <p><ひょうたん池></p> <p>R1:池周りの園路の一部をコンクリートにて補修し不陸を調整した。</p> <p><全体></p> <p>H28, H29, H30, R1:落枝、倒木の危険が高い樹木の剪定及び伐採を実施。今後も継続</p> <p>H28, H29, H30, R1:苔等により滑りやすく、危険性のある床面を清掃除去実施。今後も継続</p> <p>H28:エントランスのテラコッタドール及びクジラのオブジェは老朽化のため撤去。</p> <p>H28, H29, H30, R1:消防計画書作成の上、消防訓練実施 (3月実施予定)。</p> <p>H28, H29, H30, R1:大阪府の建築物点検マニュアルを基に、ISO14000 に展開し、年4回遵守状況を確認している。</p> <p>H28:植栽エリアの点検個所については、樹木医による診断により樹木の健康度の確認を実施した。現在、管理時に日常点検中</p> <p><u>※H30 モニタリング対応方針：担当部局と危機管理マニュアルを共有し、防災訓練などを通じ、その内容について随時精査する。</u></p> <p>R1:大阪府・文化園共有の危機管理マニュアルを作成、運用開始。</p> <p>1月に南海トラフ地震を想定して大阪府と災害訓練(伝達訓練)を実施した。</p>		
		②各種施設の内装補修				
<ul style="list-style-type: none"> ・壁紙の張り替え等軽微な補修 	毎年	<p>H28, H29:レストランに本棚、つい立を設置し老朽化した壁面を保護。</p> <p>H28, H29:ガーデンショップの内装を塗り直し。</p> <p>H30:イベント広場の休憩所を売店に改装し、室内壁の汚い部分にロールスクリーンを設置し明るい店内とした。</p> <p>R1:花の工房の休憩室の壁面に園内ボランティア活動内容等の資料を掲示することで汚れた壁面を隠すと共に園内ボランティア活動を紹介する場とした。</p>				

		③老朽化を目立たなくする演出				
		・ エスバリエ等の設置	H29, R1	H28, H29：レストランのファサードにつる植物の誘引。 H30 にフルルデッキへ壁面緑化を設置済み R1:バラ園に木製トレリスを設置。		
(7)花きに関するボランティアの育成に関する業務	①花きの専門知識の継続的教育				A	<ul style="list-style-type: none"> ・提案に基づき、今後も植栽展示・イベント・運営全般について様々な変化が伴うため、ボランティアとの意思疎通を密にし、連携体制を強化されたい。 ・ボランティアを対象とした講習会を充実されたこと、養成講座については昨年度並みの人数を確保できている点は高く評価できる。 ・ボランティア養成講座に参加いただいた方に今後も園内のボランティアとして継続してご活躍いただけるよう努めていただきたい。
	・ ボランティア活動の場の提供及び教育	毎年	ボランティア活動は毎週火・木・土に実施。園の職員が作業指示及び随時植物管理の教育を行っている。「NPO法人フルル花と福祉の地域応援ネット」(以下フルル)の理事会と月に1度合同で会議を行い、ボランティア会員の要望を組み込んだ連携体制及び日々の活動を実施している。園主催のイベントである「はなぶんサマースプラッシュ」のキッズワークショップにおいて、ボランティア会員によるクラフトづくりのブースを実施してもらうなど、協力して園の運営を実施している。春と秋にはフルルさんによる園内見どころガイドツアーを実施。クリスマスリースとお正月飾りをボランティアと制作し、園の演出を高めた。			
	・ ボランティア養成講座の実施	毎年	H28:全15回、52名参加。 H29:全10回、17名参加。 H30:全12回、47名参加。 R1:全12回、45名参加。			
	②花の栽培以外のプログラムの充実					
	・ ボランティアを対象とした各種講習会の実施	毎年	花の文化園倶楽部活動を発足。R1は4クラブとして活動。クラブ毎に職員を中心に勉強会や園内活動、他の施設見学等を1回/月実施している。(バラ倶楽部、クレマチス倶楽部、草花・ハーブ倶楽部、自然観察・ガイド倶楽部)。			
	・ 他の園の活動を学ぶバスツアーの実施	H29~R2	H30:都市緑化フェア「山口ゆめ花博」視察。和歌山・白浜へのバスツアー実施(南方熊楠記念館、平原原公園) R1:ローザンベリー多和田(米原)へのバスツアー実施。			
	・ ボランティアの活動の支援	随時	毎月「NPO法人フルル花と地域の応援ネット」の理事会と会議を行い、ボランティア会員の方の要望を汲んだ日頃の活動内容の改善や今後の体制づくりについて検討している。ボランティア会員のボランティア活動日の入園は無料としている。ボランティア活動における交通費の補助金を提供している。			
(8)その他施設の管理運営に関する業務(売店、レストラン含む)	①売店				A	<ul style="list-style-type: none"> ・いずれも提案に沿った取組がなされており評価できる。 ・来園者数増加を図るため、引き続き園内施設を活用した様々なイベントを開催されたい。
	・ 園の花と連動した商品の充実	H28	花壇と販売苗をリンクするなど、継続実施中。			
	・ 寄せ植えの販売	H28	季節や行事に合わせた寄せ植えを継続販売中。			
	②レストラン					
	・ プロデューサーを起用した新店舗の検討	H28	プロデューサー指導のもと、新メニューの導入や、キッズスペースの設置等を実施済み。			
	・ 温室カフェテリアの整備	H28, H29	整備済み。			
・ ケータリングカーの誘致	毎年	H28:夏休み子ども祭りでは3台のケータリングカーを誘致。 H29:「奥河内秋の文化祭」では2台、「はなぶんファンタジーシネマ」では4台のケータリングカーを誘致。				

				<p>H30:「奥河内秋の文化祭」では 1 台を毎週末、外部団体主催のマルシェでは、11 台を誘致。また、随時出展依頼のあったものは受け入れ、園の賑わいを創出した。</p> <p>R1:「奥河内秋の文化祭」では 3 台、外部団体主催のマルシェでは、9 台を誘致。また、随時出展依頼のあったものは受け入れ、園の賑わいを創出した。サマースプラッシュ、秋の文化祭では、ケータリングカーによる体験講習も実施した。</p>					
		・休憩所（ベンチ）の整備	H28, H29	整備済み。					
		③その他施設							
		・イベントホールとイベント広場が連動したイベント実施	H29～R2	<p>H28:夏休み子ども祭りの際、イベントホールで各種ワークショップやクラフトづくり体験を行い、イベント広場ではケータリングカーによるにぎわい演出を行った。</p> <p>H29:「NPO法人フルル花と地域の応援ネット」と共催のフルル展を開催（10/24-29）し、イベントホールで各種ワークショップを行い、イベント広場では園内栽培の花き類の即売会を行った。</p> <p>H30:クリスマス展（12/4-12/24）では、イベントホールでクリスマス関連の展示を行い、イベント広場では、ワークショップを開催した。「NPO法人フルル花と地域の応援ネット」のフルル展は H29 年度同様に開催。また、イベントホールにて飲食ブース、イベント広場で物販ブースという外部団体主催のマルシェを誘致し賑わいを創出した。</p> <p>※H30 モニタリング評価対応方針：入園者数増を目指した目玉となるような企画や植栽を検討</p> <p>R1:「NPO法人フルル花と地域の応援ネット」のフルル展、外部団体主催のマルシェは H30 年度同様に継続的に開催した。</p>					
		・花の工房事務室に授乳室を設置	H29 以降 (H28 延期)	キッズルームをセンター棟に新設したため、授乳室は現在の施設を活用し、図書室を含めてロビーの活用に変更。					
		・花の工房休憩室にキッズスペースを併設	H29	センター棟ロビーへ計画変更し、設置済み					
	(9)周辺施設と連携したイベント開催等による地域活性化に係る業務	①木根館との連携							
		・削りくず等のコンポスト化	H29 以降 (H28 延期)	自然発火等のリスクがあるため、連携施設と協議の上で中止。					
		・園内ベンチ等の製作及びイベント化	毎年	連携せず、内部職員にて実施。					
		②くろまろの郷、ふるさと歴史資料館との連携							
		・マルシェや加工品による料理教室の実施	H29～R2	<p>H28, 29, 30, R1:くろまろの郷施設連携会議へ隔月で参加。(H28, H29 は毎月)</p> <p>H29:奥河内秋の文化祭イベントでは、周辺施設（くろまろの郷ビジターセンター、JAあすかてくるで河内長野店、木根館、ふるさと歴史学習館）との連携強化を図るため、スタンプラリーポイントの設置、フライヤーへの情報掲載を行った。また、ワークショップへの出展協力もいただいている。他施設のイベント開催においては、物品の貸出やポスターの園内掲示の協力を随時行っている。</p> <p>H30:はなぶんサマースプラッシュ、奥河内秋の文化祭では、フライヤーへの情報掲載を行った。キッズワークショップへの出展協力をいただいている。他施設のイベント開催においては、物品の貸出やポスターの園内掲示の協力を随時行っている。</p> <p>R1:昨年度に引き続き、はなぶんサマースプラッシュのキッズワークショップへの出展協力</p>		A	<p>・周辺施設との間でイベントへの相互出展等をしていることは評価できる。</p> <p>・くろまろの郷との共通チケットについては、くろまろの郷の利用者を花文へ誘致する取組であり、今後も相互優待の周年化など、取組を発展させられたい。</p>	A	<p>・施設所管課の評価のとおり、提案された項目については、いずれも提案に沿って実施されたと評価できる。</p> <p>・直売所やくろまろの郷等の連携強化を図り、施設間での来客の流動化を促すような、効果的</p>

				をいただいている。11月の特別フライヤーに、イベントや優待券の情報掲載を行った。また、各施設の紹介看板を相互に設置している。				な集客方法を検討されたい。
		・くろまろの郷との連携チケットの販売	R1	H30:くろまろの郷レストラン及びビジターセンターが混雑して待ち時間が掛かる場合はレストランの予約をして文化園を先に見てからのレストラン利用を図る共通コラボチケットの試験運用を実施した。(5~7月の運用で430人の利用) R1:くろまろの郷(JAあすかてくるで、むささびパン工房)の優待券とイベント情報を11月特別フライヤーに掲載し、くろまろの郷エリア全体でPRを行った。イベント情報と合わせて掲載することで、くろまろの郷エリアへの来訪動機を増やし、文化園への誘客を図った。(優待券利用数 534枚)				
		・くろまろの郷への花による装飾の提供	H29~R2	H30:くろまろの郷から文化園へ向かう宮山橋にプランターを設置し、季節ごとのお花で入園者を出迎えた。 R1:定期的に園内展示後の抜取りした花苗、園内生産の余剰花苗を無償で提供した。				
		・花見ツアーの開催(地元への開放)	R1~R2	(花見ツアーの開催から、地元住民への開放へ変更) H29:近隣地元自治会を招待し、夜間ライトアップ花見を実施。 H30:近隣地元自治会を招待し花見を実施。 R1:H30に引き続き地元自治会を招待しての花見を実施。				
(10)高齢者、障がい者等への利用援助	①高齢者、障がい者への利用援助	・貸出し用車椅子の設置	H28	設置済み。	A	・提案どおりレイズドベッドの整備およびイベント実施をしていることは評価できる。 ・来園者の要望や意見、職員の気付きについて、職員間で十分に情報共有し、園の魅力を高め来園者の満足度を高めるために活かしていただきたい。	A	・施設所管課の評価のとおり、提案された項目については、いずれも提案に沿って実施されたと評価できる。
	・レイズドベッドの整備およびイベント実施	H30~R2	H29:レイズドベット整備済み。4月、10月に車椅子に座ったままレイズドベッドを利用した花の植え替えイベントを無料実施した。20組ほどの参加。 H30:H29同様に福祉花壇にて4月、10月にレイズドベットを利用した花の植え替えイベントを実施した。17組ほどの参加。 R1:H30同様に福祉花壇にて4月、11月にレイズドベットを利用した花の植え替えイベントを実施した。15組参加。					
	・貸出し用音声案内の設置	H29	設置済み。					
	・ヒヤリハット事例等の収集および改善	随時	お客様ヒアリングシート及び気づきシートを作成し、お客様からお聞きした要望やご意見をとりまとめ、随時改善に努めている。気づきシートは職員自身も利用し、お客様目線での思考、行動面での「気づき」を大切にするよう指導している。毎月の全体会議で事例を紹介し日々のサービス向上に努めている。					
(11)府施策との整合等	①府が主催、共催、後援する行事・イベントへの協力	毎年	府政学習会の開催場所及び、無料入園券、粗品の提供を行っている。府政だよりの読者プレゼントに無料入園券の提供を行っている。大阪府南河内府税事務所による「税を考える」特別イベントを開催(11/17)。開催場所の提供、資材の貸出等のサポートを行った。	A	・提案どおり府施策に協力いただけただことは評価できる。 ・府内花き生産振興については、年1回調整会議を実施し、連携強化に努めている点は高く評価できる。 ・就職困難者等の雇用については、提案どおり実施しており評価できる。 ・入園者数については、1月末時点では総入園者数が昨年対比98.8%、有料入園者数が94.7%で推移してお	B	・施設所管課の評価のとおり、提案された項目については、いずれも提案に沿って実施されたと評価できる。 ・利用者数については、目	
	②府内花き生産振興支援	毎年	大阪府花き連盟より装飾花壇及び各花壇で使用する花苗を購入。年1回花き連、生産者、園担当者での調整会議を実施して連携強化に努めている。					
	③教育、福祉への協力	毎年	学校ガーデニング事業では河内長野市内の小中学校へ花苗の提供と植付けの指導を実施。(H28:全21校、H29:全21校、H30:全1園15校、R1:全1園17校) 小中学校の生徒による職場体験の受け入れを実施。(H28:9校30名、H29:7校19名、H30:6校18名、R1:5校16名) 職場体験では毎年新任の先生方の受け入れも実施。(H28:3校3名、H29:3校3名) こさえたんフェアを実施。(H28:春・秋、H29:秋、H30:秋、R1:春・秋)					

			<p>④就職困難者等の雇用 毎年 雇用済み。</p>	<p>⑤利用者満足度調査 毎年 ※H30 利用者満足度調査実施による改善のための対応方針:目玉となるよう企画(講習会やコンテスト)や植栽について検討していく。 R1:春と秋にアンケートを実施。各回 500 名以上の方に協力をいただいた。</p> <p>⑥利用者数 毎年 ※H30 モニタリング評価対応方針:目玉となるよう企画(講習会やコンテスト)や植栽について検討していく。 H29:総入園者数は 89,588 人(1 月末 昨年対比 122%)、有料入園者数は 40,948 人(1 月末 昨年対比 110%)である。 H30:総入園者数は 82,555 人(1 月末 昨年対比 92%)、有料入園者数は 41,149 人(1 月末 昨年対比 101%)である。昨年まで開催のイルミネーション(17:00 以降)の入園者を除くと昨対比は総入園者数では 101%である。実質の総入園者数、有料入園者ともに、過去 2 年間の経験を活かした年間イベント計画、効果的な PR の実施により、9 月度の行楽シーズンにおける台風 21 号の被害による休園(14 日間)があったにもかかわらず昨年度同様の成果をあげた。また、外部入園者数として「大阪舞洲ユリ園」における文化園の紹介活動にてユリ園入園者約 10 万人に対し 4,5 万人へ案内することができた。 障がい者の入園者数については 8,165 人(12 月末 昨年対比 94%)である。幼児、小中学生の入園者数については、13,475 人(12 月末 昨年対比 109%)である。増加要因としては「はなぶんサマースプラッシュ」等の夏休みイベントの定着、子供向けのワークショップを多数開催した結果と思われる。 R1:総入園者数は 81,564 人(1 月末 昨年対比 98.8%)、有料入園者数は 38,974 人(1 月末 昨年対比 94.7%)である。今期は 4~6 月での集客に力をいれ装飾花壇に新規フォトスポット「フラワードレス」を新設、花きが一番きれいな季節である 4 月、5 月において「フラワードレス」をテーマにしたインスタグラムフォトコンテストを開催、SNS 等の活用による集客にも注力した。6 月には「はなぶんユリ祭り」として 1 万球のユリを園内各所の展示すると共に、大温室においては期間限定で季節の花で利用した「フェアリーリング」と天使の貸衣装を設置しフォトスポットとして活用し 4、5 月に続きインスタグラムフォトコンテストを開催した。インスタグラムフォトコンテストを含めた SNS における積極的な PR 活動により文化園へのフォロワー数も着実に伸びてきている。 (Facebook 3 月末 2,160 → 1 月末 2,404、Instagram 477 → 825、Twitter 306 → 463、おでかけ情報「いこーよ」1,500→1,937) 障がい者の入園者数については 8,647 人(1 月末 昨年対比 102%)である。河内長野近隣の各種福祉施設への季刊誌配架の効果が結果としてあらわれてきている。 幼児、小中学生の入園者数については、12,505 人(1 月末 昨年対比 89%)である。 パスポート入園者数は 14,681 人(1 月末 昨年対比 106%)である。四季における園内花き展示内容の充実が年間を通してのリピート率が上がった結果である。 また、H30 同様に「出張花の文化園」に力を入れ、「大阪舞洲ネモフィラ祭り」をはじめ昨年同様の各施設での外部入園者として約 5 万人へ文化園の PR をすることができた。</p>	<p>り、現時点では総入園者数が年間約 99,000 人(H30 入園者数 100,043 人(ボランティア除く)×98.8%)、有料入園者数は約 46,000 人(H30 有料入園者数 48,737 人×94.7%)と見込まれる。 ・園内にフォトスポットを創出するなど、新たな顧客獲得に向けた取り組みを行い、SNS のフォロワー数が増加していることについては評価できるが、最終年度の目標 20 万人を達成するには、更なる集客が必要である。 ・今年度、総入園者数・有料入園者数共に昨年度よりも減少し、目標達成に至らなかったことについては、危機感を持って取り組んでいただき、引き続き、PR 活動、多様なイベント開催、植栽展示及び植物に関する講習会等の充実に努め、来園者数の増加を図りたい。 (参考:5 カ年事業計画で掲げた令和元年度の総入園者数 120,000 人及び有料入園者数 55,000 人)</p>	<p>標に達しなかったが、全国的に植物園等の入園者数が減っている情勢を踏まえて、評価する必要がある。他の植物園に比べ集客が弱い 10 月の対策強化など、今後の新たな取り組みによる集客数の増加に期待したい。</p>
			I 総括	A	B	

評価項目	評価基準（内容）	実施予定年度	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言		
				S～C		S～C			
Ⅱさらなるサービスの向上に関する事項	(1) 施設・設備の改修	①平等利用を確保するための施設整備			A	<ul style="list-style-type: none"> ・提案どおり、園全体の舗装再整備や施設の改善を進めていることは評価できる。 ・車いす利用者が安全通行可能な園路への路面サイン設置についても、予算を確保して対応されたい 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・施設所管課の評価のとおり、提案された項目については、いずれも提案に沿って実施されたと評価できる。 	
		・園全体の舗装再整備	H29～R2	H28, H29:モミジ谷、階段の整備実施。 H30:モミジ谷園路舗装全面改修、シェードガーデン内の石畳の不陸調整を実施。 R1:エントランスから装飾花壇へ上がる階段の劣化した舗装材を撤去し洗浄を実施。園外の劣化した歩道舗装の全面改修実施。					
		・車椅子利用者が安全通行可能な園路に路面サインを設置	H30～R2	H30:実績なし。 R1:実績なし。					
		・エントランスゲート近くに車寄せを新設	R1	R1:大阪府による今後の園全体の再整備、改修計画の内容に合わせて再度計画することとし延期。					
		・男女トイレに子供用いす及びおむつ替えスペースを設置	R1～R2	R1:3月度に設置予定。					
		・花の工房事務室に授乳室を設置	H29以降 (H28延期)	(再掲)キッズルームをセンター棟に新設したため、授乳室は現在の施設を活用し、図書室を含めてロビーの活用に変更。					
		・花の工房休憩室にキッズスペースを併設	H29	(再掲)センター棟ロビーへ計画変更し、設置済み					
		・園内サイン、パンフレットの多言語化	H29, H30						
		・園内各所にベンチやパーゴラを設置	H29, R1 (H28延期)	H30:イベント広場、売店前、コミュニティガーデンに休憩用のパラソル付きテーブルセットを設置。 R1:大温室にベンチを設置。					
		・施設のバリアフリー化(階段のスロープ化、手すり設置)	H28, H29, R1	H28:遊歩道に手すりを新設。幅広い年代の方に対応。 H29:球根園を車椅子対応に整備済み。 R1:道の駅から園へ向かう道路にある歩道の舗装を全面改修し車いすでの利用を可能にした。					
		・社会福祉施設の職員を定期的に招いて改善点の指摘を受け入れ、施設を再整備	H29～R2	H29:実績なし。障がい者ご来園時には聞き取りを行ない、休憩室(和室)の利用を頂く等改善中。 H30:レストランの一部エリアのテーブルの設置間隔を広くし、車いす等での利用をしやすい改善をした。 R1:国立大阪南医療センターより副看護師長を招き園内施設へのアドバイスをもらい今後の改修計画の参考とした。					
		②エントランスゾーンの改修整備							
		・外からも装飾花壇を臨むことができるように見通しを改善	H28	ゲート外から装飾花壇が見えるように改修。					
		・園内エントランス広場の舗装改修(※事業計画では記載がないが、シェードガーデン園路改修を予定)	H30	H30:シェードガーデン内石畳の不陸調整を実施。					
・シンボルとなるようなサインを設置	H29, H30 (H28延期)	H29:エントランス上部へ遠くからでも視認できるサインを設置。より親しみを持ってもらえるよう“はなぶん”の愛称を強調するデザインとした。							

				<p>エントランスのシンボルツリーであるシマサルスベリの樹形(影)の映し込みを意図して白をベースとしたカラーリングとした。</p> <p>H30:実績なし。</p>					
			・装飾花壇の勾配変更	H30 (H29 延期)	H30:最上段の花壇に盛土を実施し、モニュメントの付近を頂点とする約40cmのかさ上げを行い勾配を変更した。				
			・売店にカフェを併設し、コミュニティガーデンに座席を設置	H30, R1 (R1 追加)	<p>(再掲) (大温室との兼ね合いにより、カフェの設置から休憩スペースの改修に変更)</p> <p>R1:売店前、コミュニティガーデン内を整理してテーブルセットを設置した。</p>				
(2) その他 創意工夫	①提案に基づく業務内容以外の創意工夫・ 自主事業の取り組み	毎年	<p>H29:自主事業として、「はなぶんファンタジーシネマ」として屋外映画鑑賞会を実施。</p> <p>H30:各種イベント団体をプロモートすることで費用をかけない形での新規イベントを実施した。(河内長野雑貨村 春、夏、秋計3回)。ゼロエミへの取り組みを兼ねたイベントとして、装飾花壇の植替え時期に合わせて花壇の抜き取りイベントを実施し、多くの入園者にご参加頂くとともに、まだ使える花苗の再利用と植物残さとしてのゴミの排出抑制ができた。(6、9、11月実施 参加者700人) 夜の植物園ナイトツアーを開催し新たな植物園の魅力を発信した。(7月 参加者8日間21人)</p> <p>モミジ谷の園路改修にともない紅葉ライトアップとモミジの下での篠笛と電子ピアノの演奏会を実施した。(11月 参加者3日間788人)</p> <p>R1:H30同様の各イベント、プログラムを継続実施。</p> <p>個人のSNSによる情報拡散による文化園の知名度アップを目的に新規フォトスポット(フラワードレス、フェアリーリング)を利用したインスタグラムフォトコンテストを開催し文化園ホームページへのフォロワー数を伸ばした。</p> <p>毎週火曜日をペット開放デーとして新規客層の取り込みを行った。</p>		A	・SNS拡散による知名度アップ・集客増加や、ペット開放デーの設定など、これまでとは異なる客層をターゲットとした取組を行ったことは評価できる。	A	・施設所管課の評価のおおりに、提案された項目については、いずれも提案に沿って実施されたと評価できる。	
II 総括						A		A	

評価項目	評価基準（内容）	実施予定年度	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指定・提言	
				S～C		S～C		
目適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する事項	(1) 収支計画の内容、適格性及び実現の程度	①施設や植栽整備に利益の再投資を行い、「経営」視点の管理運営	毎年	H28, H29, H30:施設の安全を確保、施設コンセプトに見合う改修・サービスに優先的に投資。同時に、集客に向けた準備（コンテンツの充実、宣伝）を行い指定管理3年目からの経営回復をはかる。 植栽管理及び改修の高質化及び作業の安全性の向上を一番に考え、適正価格で住友林業グループの取引業者へ外部委託。 住友林業グループの一員としての総合力で、改修費用、生産原価を抑えることで経費の圧縮を実現。 専門家を招きバラ等の管理指導を受けると同時に、イベント化し来園者に向けての講習とすることで費用の削減と管理の高質化を実現。 業務分担の見直しを行い、チーム間、職員間の情報の共有化を徹底することで、作業の無駄を省き運営の効率化をはかる。 H30:パート職員の効率的なシフト管理を行うことで人件費を抑え、管理業務の一部を外部委託することで園内整備に注力した。 ※H30 モニタリング評価対応方針：目玉となるような植栽について、検討をはかる。 R1:装飾花壇にフラワードレスを新設して花苗を立体的に展示し、ドレスの植えに立って写真を取れる構造として1年を通した新たなフォトスポットとし四季の花で装飾をした。6月は10,000球のユリ苗を園内各所に展示する「はなぶんユリ祭り」を開催した。11月は文化園オリジナル品種を含む10,000輪のダリアを展示し合わせてダリアの栽培講習会を開催した。 入園料収入 22,863千円（1月末 昨年対比 96%）、施設利用料収入 599千円（1月末 昨年対比 103%）となっている。	A	・フラワードレスの新設や、ユリ祭りを開催、植栽展示の整理改修など、来園者満足度向上による集客（収入）増に取り組んでいることは評価できるが、入園料及び施設使用料収入は昨年対比 97%で推移し、現時点では年間約28,452千円（H30 同収入 29,332,296円×97%）の見込みとなっており、5カ年事業計画で掲げた令和元度の入園料等の収入 36,000千円を下回っていることから、利益の再投資に向け、収入の確保に努められたい。 ・共同企業体を構成する2法人の経営状況は安定しており、今後も安定的な指定管理業務の遂行が期待できる。	B	・施設所管課の評価のとおり、提案された項目については、いずれも提案に沿って実施されたと評価できる。 ・収入については、目標達成には至らなかった。この項目については、集客数と密接にリンクするため、来年度の集客増にさらなる創意工夫を期待したい。
		②最新技術の活用や無駄を省いた効率的な管理運営による経費削減	毎年	H28、H29、H30：入園券の発券システムを新たに導入し、発券と同時に入園者の年齢や性別の分類集計を可能とした。今後は集計したデータを活用し、運営の改善を図る。園内生産の植物を売店で販売することにより、仕入経費の削減に努めている。 R1:売店・レストランにPOSレジシステムを導入し閉店後の作業の効率化を図ると共に、データを活用した売上げ・販売分析を行いより利用者のニーズにあった経営ができるようになった。				
		③安定的な運営が可能となる財政的基盤（法人の経営状況）	毎年	共同企業体のいずれの法人においても安定した経営を継続している。				
	(2) 安定的な運営が可能となる人的能力	①職員体制・配置	毎年	管理職員3名（住友林業緑化社1名、E-DESIGN社2名）、現場雇用嘱託職員10名（マメジメント2名、プランニング1名、ガーデン7名）の13名体制で運営。パート職員についてはプランニング担当3名、植栽管理18名、レストラン7名、券売2名、売店4名、管理清掃4名、計38名体制で業務にあたっている。 経理業務管理については3名（内2名は現地雇用嘱託職員）にて、支出管理、勤怠管理を行っている。 植栽管理については6名の現場雇用嘱託職員にて担当植物分担を決めたうえで	A	・パート職員が増員され、また植栽管理、レストラン、売店を兼務するなど業務範囲が広がっていることから、来園者サービスの質を維持するため、職員研修を充実させるとともに、引き続き職員間及び指定管理者とボランティア間の意思疎通及び運営方針の共有に努められたい。	A	・施設所管課の評価のとおり、提案された項目については、いずれも提案に沿って実施されたと評価できる。

			<p>年間管理計画に基づき植栽管理パート職員と共同して作業にあたることとしている。また、毎週1回のミーティングを実施し、情報共有を図っている。</p> <p>企画担当は5名体制で、広報・イベント等企画を実施。毎週ごとにみどころガイドマップ等の広報媒体の作成、ホームページ等の更新、イベントの企画・運営、イベントホール等の使用誘致及び調整を行っている。</p>			
	② 職員の指導育成体制は十分か	毎年	<p>住友林業緑化社実施の安全大会への出席、I S O研修等の住友林業グループの教育の場に嘱託職員も参加。</p> <p>1回/週の朝礼において危険作業等の是正事項の指導を実施。</p> <p>職員が常駐する各部屋に住友林業グループの環境方針を掲げ、定期的に確認を促している。</p> <p>管理運営業務に必要な各種資格の取得を積極的にサポートしている。</p>			
III 総括				A		B